

岐阜県立多治見看護専門学校 学校運営評価会議 議事概要

1 日 時

令和元年12月5日（木） 10:00～11:20

2 場 所

岐阜県立多治見看護専門学校 図書室

3 出席者

評価員：石山 光枝（公益社団法人岐阜県看護協会会長）

東 智美（地方独立行政法人岐阜県立多治見病院副院長兼看護部長）

原 頼子（訪問看護ステーション陶の里管理者）

若原 明美（岐阜県健康福祉部医療福祉連携推進課看護対策監）

山本 知枝子（医療法人陽和会春日井リハビリテーション病院看護副部長）

学 校：北島 浩子（校長）

4 主な意見（評価）

（1）学校評価、取り組みについて

- ・ 自己点検・自己評価は良いが、他者評価として在校生に「何を支援して欲しいか」聞くとよい。今の時代、学生は様々な価値観を持っているので、無記名にするなどしてしっかり聞いて欲しい。
- ・ 自己評価が高いということは、自己評価が甘いのではないか。教員自身が自己満足しているだけではないか。
- ・ 学校の強みとして、実習施設が隣にあり学生の環境としてはとてもよい。
- ・ 自分の学生時代より個別性を重視しきめ細かな対応がされており、専門学校の良さだと思った。

（2）施設・設備について

ア ICT環境について

- ・ 図書を充実させることも大切ではあるが、今はICTという考えに変わっている。現状の環境では明らかに不十分である。高校はネット環境を整えている。同じ県の施設で高等教育をしている学校であるのだから改善の必要性を県へ伝えていくべきである。
- ・ Wi-Fi（ネット）環境を整備し、学生自身のスマートフォンで動画などを見られるようにしたらよいのではないか。
- ・ （学生が利用できるインターネット）PCが1台だけでは、最新の情報が得られず知見も広がらない。タブレットを整備してもよいのではないか。

イ その他

- ・ 1、2年生の机は、早急に改善してほしい。
- ・ 図書室にDVDを視聴できる環境を整備したらどうか。
- ・ 在宅介護の演習には、居宅の広さと同じ程度で、段差もある休養室を使うのも効果的ではないか。

(3) その他

- ・ 今の学生は見た目の環境も重要視する。整備できる部分は整え、優秀な学生の確保のために、選ばれる学校として存在していて欲しい。
- ・ 県下には何校も大学はできているが、この学校は県内就職率が高く地域に貢献している学校である。県にもっと大きく（予算を）要求して学生にとって良い環境を提供して欲しい。
- ・ 優秀な看護師を育てるため、教員も将来を見据えて研鑽して欲しい。

5 今後の予定

令和2年度は、年2回程度の開催とする。